

ワイヤ放電加工機

アーム蛇腹交換

 **Makino Machine
Care Package**

約束するのは、止まらない機械



アーム蛇腹の破損は加工液漏れに直結 新しい蛇腹で安定した生産を！

アーム蛇腹の役割

ワイヤ放電加工機の加工槽には、下アームを水中で保護するための蛇腹があります。アーム全体が蛇腹状のゴム製カバーで覆われ、加工液が加工槽から漏れない構造になっています。

⚠ アーム蛇腹の破損要因

ゴム製であるため経年劣化も要因の1つですが、以下のようなアクシデントがアーム蛇腹破損の主な要因です。



経年劣化で破損したアームカバー

- ・スラッジ堆積による擦れ
- ・ワークが落下した衝撃

など

💧 破損によるトラブル例

アーム蛇腹が破損すると、加工液が機内外に漏れ出て、加工液を加工槽に溜めておくことができなくなってしまいます。

🌀 ガイドの破損や早期摩耗

リニアガイドの潤滑を洗い流してしまい、ガイドの破損や早期摩耗につながります。

🌀 スケールの損傷

スケール内部に水分が浸入し、読み取り異常などのアラームを引き起こします。

最悪の場合、加工がストップしてしまうだけでなく、
工場内を水浸しにしてしまう恐れも…

“安定した生産”への近道は？

✓ 日常的な状態確認

✓ 破損発見後の早めの交換

が、被害を最小限に抑える秘訣です。

とくに納入から5～6年以上経過した機械は、蛇腹の状態を一度確認いただくことをおすすめしています！



作業内容

01 破損状況の確認

下ヘッドを取り外し、アーム蛇腹を取り外します。



02 新しい蛇腹へ交換

アームの清掃をし、新しい蛇腹に交換します。



03 水漏れの確認

加工槽に加工液を溜めて軸のランニングを行い、最終漏れがないかチェックします。



作業時間(目安): 約6時間

対象機種

U3(H.E.A.T.), U6(H.E.A.T.),
U32/i/j/K, U53/i/j(Tj)/K,
W32FB, W53FB
UPV-3/5, UP32j, UP53j,
EU64, SP43/64, DUO43/64

価格

右の二次元コードから
専用サイトで
ご確認ください。



ご相談・お見積りはこちらから

株式会社 牧野技術サービス

<https://www.makino-mts.co.jp/>

牧野技術サービス お問い合わせ



 Makino Machine
Care Package